

# 街歩きヒストリア



新築時の広島合同貯蓄銀行本店（昭和12年（1937年）頃 広島銀行「創業百年史」資料（広島県立文書館寄託））

## （旧・広島合同貯蓄銀行本店） 広島銀行銀山町支店

上の写真はこの銀行の旧建物です。ギリシャ風の白い柱や装飾が豪華で重厚な印象ですね。昭和12年（1937年）に広島合同貯蓄銀行本店として新築、石造り3階建ての建物でした。

昭和20年（1945年）には政府の一県一行主義で藝備銀行となり、同年7月からは広島東警察署として機能。原爆投下時にも倒壊を免れ、8月7日からの12日間は臨時の広島県庁舎になりました。

昭和25年（1950年）に広島銀行に返還され、同行支店として長く愛されてきましたが、昭和63年（1988年）に建て替えられました。

現建物の壁面には旧建物玄関部分が保存されています。歴史を語る貴重なモニュメントです。

（文、写真・片山典子さん）



上：旧建物の玄関部分（西壁面の南寄り）  
下：現在の広島銀行銀山町支店



中央公民館エリア（白島、基町、幟町）の街の魅力を歴史とともに紹介するコラム「街歩きヒストリア」。公募で集まった制作スタッフが編集します。編集してくださる方を随時募集しております。